

## 会議録要旨

(1) 会議の名称	第4回手話言語条例検討委員会
(2) 開催日時	令和2年1月15日（水曜日）午後7時～午後8時30分
(3) 開催場所	市民プラザたけふ 中会議室1
(4) 出席委員氏名	青井委員 森本委員 鶴井委員 小林英典委員 澤崎委員 蓑輪委員 山下委員
(5) 欠席委員氏名	奥村委員 小林照子委員 児玉委員 藤木委員
(6) 出席所管課職員職氏名	社会福祉課 笹田課長、神門副課長、小林主幹、山森主事 城戸(囑託)
(7) 会議議題	①手話言語条例について ②その他
(8) 傍聴者の数	8人
(9) 会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 越前市手話言語条例案</li> <li>・資料2 新旧対照表</li> <li>・資料3 条例に基づく手話施策推進方針（骨子案）</li> <li>・資料4 パブリックコメント結果</li> <li>・資料5 条例と基本推進方針のイメージ図</li> </ul>
(10) 会議の内容の要旨	<p>①事務局より手話言語条例案について前回から修正した箇所を中心に説明した。また、市の手話施策推進方針の骨子案について説明した。</p> <p>②前回、施策を見直す期間について明確に記載したほうがよいという意見が出たが、来年度から設置する予定である具体的施策を提言する懇話会（仮称）は基本毎年開催する予定であり、そちらで施策に対する意見を集約し、併せて必要な見直しも検討する予定と事務局より回答した。</p> <p>③手話言語条例案について協議し、主な意見は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条文の書き方について、「ですます調」と「である調」を比較してみると、「ですます調」が全体的に柔らかい表現となっており、子どもも親しみやすい内容となっているので、「ですます調」の条文がよい。</li> <li>・前回の条例素案には「手話を使う」という表現があったが、「手話に触れる」に変わっており、良い表現だと思った。</li> <li>・条例の名称案を募ったところ、10個ほど案が出たが、いくつかの案を組み合わせて「越前市みんなの心をつなぐ手話言語条例」としてはどうか。</li> <li>・今まで漠然としていた条例と基本推進方針、施策の役割が、事務局が提示した骨子案でより明確にイメージできた。まだ大まかな内容ではあるが、施策の詳細については、来年度に開催予定である具体的施策を提言する懇話会（仮称）で具体的に決めていけばよい。</li> </ul>
(11) その他	—